

令和6年6月4日 朝会（いのち）

6月18日は、何の日でしょうか。

6月18日は「豊橋・学校いのちの日」です。今から14年前の6月18日に、豊橋市の中学1年生の子が野外教育活動の時に事故にあい、命をなくしてしまいました。その子のおうちの人や、お友達、学校の先生がたは、今もその悲しみを忘れてはいません。もう二度とこんな悲しいことが起きないように、みんなで考え、みんなで気をつけていかなければいけません。

今日は、一つ絵本のお話を紹介します。

『いのち』

文：あさこ

絵：まゆ

いのちって なに？
めに みえないし さわれないけど だいじなもの
みんながもっている ひとつしかない いっかいきりのもの
いきるための ちから
どうして いのちって あるの？
みんなで しあわせになるため みんなで しあわせを わかちあうため
ひとりは さみしい・・・
みんな なかよし にこにこ えがお
いっかいきりの いのち
あなたが つかえる たいせつな じかん
あなたは どう 生かしますか？

絵本のお話は、これで終わりです。

命は みんな もっているけど 一つしかないものです。

命は 一度なくなったら、もう戻ってきません。

みなさんは、命を大切にしていますか？ 精一杯生きていますか。

命を大切にすると、今生きている時間を上手に使うということでもあります。

いつまで生きることができるのかは 誰にもわかりません。

もしかしたら、今日、大きな地震が起こり、大けがをしたり事故にあったりするかもしれません。

あなたは、生きている時間を上手に使っていますか？

勉強や運動、友達と遊ぶことなど、今できることを一生懸命がんばってください。

自分のことだけでなく、周りの人のためにできることも考えてやってみましょう。

そして、何よりも、自分の命、みんなの命を失わないために、安全に気をつけてください。

自分も友達も、みんなが幸せに過ごせるように、考えることが大切です。

いきている時間を大切に、今、私たちにできることを、精一杯やりましょう。

みんなが 幸せに過ごせますように